



議会議長 土屋 英夫

将来的展望に立って

昭和五十一年の輝かしい新春にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様、新年明けましておめでとございます。

皆様には、お元気で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、地方統一選挙と衆議院選挙があり、私達議会議員も、町民の皆様により方ならぬご支援をいただき、皆様の代表者とさせていただきますことができました。厚くお礼申し上げます。

又、私も昨年五月以来、議長という重責を浅学非才の身にもかかわらず背負って参りましたが、皆様のご指導、ご援助による賜ものと深く感謝申し上げる次第であります。

さて、一年の計は元且にありと申されておりますが、皆様も大きな希望を胸にいただき、一年の計画をお立てのことと思います。

しかしながら、自主財源に乏しい町財政の中で、何が一番大切で

あるかを考えず皆様の意見、声を百%実現させることは、いかに住民代表としての議員といえども、困難であると申し上げざるを得ないのであります。

したがって、町の将来的展望に立った計画的な行政の推進を、願わずにはいられないのであります。

そのためには、議会は議会としての権限にしたがい、問題の処理にあたる訳であります。帰るところは、町当局も議会も、住民福祉の向上という大目的が前提となるわけで、ともに住民の皆様に対して責任を負わなければならないのであります。

このような観点に立つとき、私は議会議員としての職責を原点に立ちかえり、町政を進展させるための大計を、そして土地利用計画を、今こそじっくり検討し、推進させてゆくことが肝要であると痛切に感ずるところであります。

以上、新春にあたり所信の一端を申し上げますが、何事も町民の皆様のご理解とご協力をいただき、議会人として、最善を

尽して参る所存でありますので、よろしくお願い申し上げます。

一九八〇年代を迎えました本年が皆様にとりまして、実り豊かなよき年となりますようお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

十二月 定例議会

町議会十二月定例会は、昨年十二月十七日から二十一日まで、五日間の会期で開かれました。

この定例会には、専決処分承認、一般会計の補正など五議案が提出され、審議の結果、それぞれ原案どおり議決、承認されました。

▼議案第一号 専決処分の承認を求めることについて

中台共同利用施設建設事業が、公団の設計審査の遅れにより、事業の一部を翌年度へ繰越し、繰越明許費を設定し、これを専決処分したので、承認を求めたものです。

▼議案第二号 町固定資産評価審

した。長い間、ご苦労さまでした。尚、退任にあたり、次のようなご挨拶をいただきましたので掲載いたします。



「退任」のごあいさつ

去る十二月十六日付をもって、四年間に渡り町発展の為にご尽力された、平山清助役が退任されました。

査委員会委員の選任について 任期満了となる、実川一氏を再選することについて、同意を求めたものです。

▼議案第三号 昭和五十四年度町一般会計補正予算議定について 歳入歳出予算の総額に、一億二千四百三十一万三千円を追加して総額で、二十五億一千四百六十七万五千円としたものです。

▼認定第一号 昭和五十三年年度町一般会計決算認定について

▼認定第二号 昭和五十三年年度町国民健康保険特別会計決算認定について

認定第一号と第二号は、昭和五十三年年度の一般会計及び特別会計決算で、それぞれ承認されました。尚、あらましについては、四頁と五頁をごらんください。

協力に依り、これに対する町の施策も順調に歩み、人口も僅かずつではありますが増加しております。町が町是とする「明るく住みよい町づくり」に基づいて、堅実な発展の途をたどっている証と存じ、喜びに堪えません。私が任期を大過なく過し得ましたのも、町民の皆様のご愛情と、ご援助によるものと、深く謝意を表し、併せて郷土横芝町の発展と、一万四千町民の限りないご多幸を希って、退任のごあいさつといたします。